

研究課題名	非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）患者の肝関連、非肝関連イベントに関する予後の検討 【共同研究】
研究期間	倫理委員会承認日 から 2025年9月30日 まで
研究の概要・目的・背景・意義	非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）は進行性の非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）と予後良好な非アルコール性脂肪（NAFL）に大別され、NASHは進行性の疾患で、肝硬変、肝細胞癌へ進行するリスクが高く、NAFLは肝臓に脂肪がたまっている状態で、非進行性と考えられており、NAFLDと診断された方を対象に、NASHとNAFLの間での合併症頻度の違いなどの予後調査を行い、また、肝線維化進行度合いや非侵襲的線維化予測マーカーを用いて予後の検討を行うことを目的としています。
研究の対象	1999年4月から2024年12月までの間、当院を受診し、画像検査にて、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）と診断され、確定診断のために肝生検を受けられた患者さん。
研究に用いる試料・情報の種類	・年齢、性別、既往歴・合併症の有無、内服歴、身長、体重、BMI ・画像検査及び採血検査結果 など
研究方法	当院にて、画像診断にて脂肪肝を認め、対象基準を満たす方の治療効果及び予後を統計ソフトにて解析する。
研究における医学倫理的配慮	本研究データからは、患者さん本人を直接特定できる情報（お名前など）を削除して匿名化しますので、患者さんを特定することはできません。 また、この研究成果については、学会や学術雑誌などで発表する場合がありますが、その場合でも、上記のとおり匿名化しておりますので、患者さんのプライバシーは守られます。
研究組織	名古屋大学医学部附属病院
研究責任者	名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学 准教授 石上 雅敏
研究担当者	名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 病院助教 伊藤 隆徳
問い合わせ先	電話 052-744-2169
当院担当者	消化器内科 竹山友章